


平成26年度
和歌山県立中学校
適性検査Ⅱ
(向陽中学校)

(10:15~11:00)

(注意)

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この冊子を開いてはいけません。
- 2 「はじめ」の合図があったら、まず、受検番号を記入しなさい。
- 3 適性検査は、どこから始めてもかまいません。
- 4 解答は、すべてこの冊子の  で囲まれた場所に記入しなさい。
- 5 計算などは、この冊子の余白を使いなさい。
- 6 印刷が悪くてわからないときや筆記用具を落としたときなどは、だまって手を挙げなさい。
- 7 時間内に解答が終わっても、そのまま着席していなさい。
- 8 「やめ」の合図があったら、すぐに解答するのをやめ、冊子の表紙を上にして机の上に置きなさい。

登場する人物



あきらさん



みどりさん

この適性検査には、「あきらさん」と「みどりさん」が登場します。

2人と一緒に、いろいろな課題について考えてみよう。

研究1 学習発表会から考えよう

みどりさんの学校で、1年生から6年生までの各学年による学習発表会を行うことになりました。学習発表会のプログラムは次のとおりです。

[学習発表会のプログラム]

開 会 式	3 年 生	1 年 生	休 け い	5 年 生	2 年 生	昼 休 け い	4 年 生	6 年 生	閉 会 式
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	------------------	-------------	-------------	-------------

○学習発表会は、午前10時に始まり、午後2時25分に終わります。

○開会式と閉会式はそれぞれ5分間、休けいは15分間、昼休けいは60分間です。



3年生と4年生の発表時間は、1年生と2年生よりそれぞれ5分間長く、5年生と6年生の発表時間は、3年生と4年生よりそれぞれ5分間長いそうよ。



午後は4年生の発表からだね。何時から始まるのかな。

課題1

4年生の発表は午後何時何分から始まりますか。ことばや図、式などを使って、どのように考えたのか説明してみよう。
ただし、各学年の交代の時間は考えないものとします。

説明

午後（ ）時（ ）分

学習発表会の会場になる体育館のいすは、5年生と6年生が並べます。
いすは全部で321きやく必要です。



1人あたり1回につき、5年生は2きやくずつ、6年生は3きやくずつ運ぶことにしようよ。



そうすると、5年生と6年生をあわせた人数は42人なので、1人が3回ずつ運ぶと、ぴったり321きやく並べることができるね。



課題2

いすを並べる5年生と6年生は、それぞれ何人ですか。ことばや図、式などを使って、どのように考えたのか説明してみよう。

説明

5年生 () 人、6年生 () 人

課題は、次のページに続きます。

研究2 磁石や電気について考えよう

あきらさんとみどりさんは、磁石の性質について話し合いました。

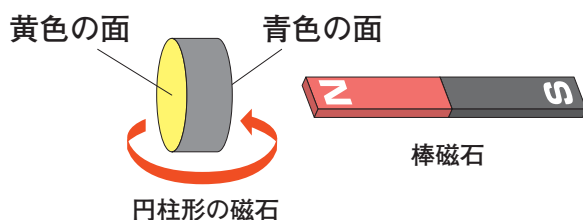


円柱形の強力な磁石に棒磁石のN極を近づけてみよう。実験の結果がわかりやすいように、円柱形の磁石の平らな面を青色と黄色にぬり分けておくよ。



何回やってみても、必ず黄色の面がN極につくね。(図1)

(図1)



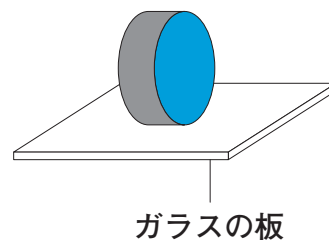
先生

では、この磁石を使って、磁石にはたらく力を調べるために、次の実験を試みよう。

【実験】

- ① ガラスの板を、ほかの磁石や金属のない水平なところに置く。
 - ② ガラスの板の上に、(図2)のように磁石を置き、磁石の動くようすを見る。
 - ③ ②で、平らな面の向きを何度も変えて、磁石の動くようすを見る。
- ※ただし、磁石の平らな面は、下にしない。

(図2)



あれ、この磁石の動きには、きまりがあるのね。

課題1

磁石の黄色の面は、何極ですか。また、みどりさんは、【実験】からこの磁石の動きについてどんなきまりを見つけましたか。それぞれ書いてみよう。

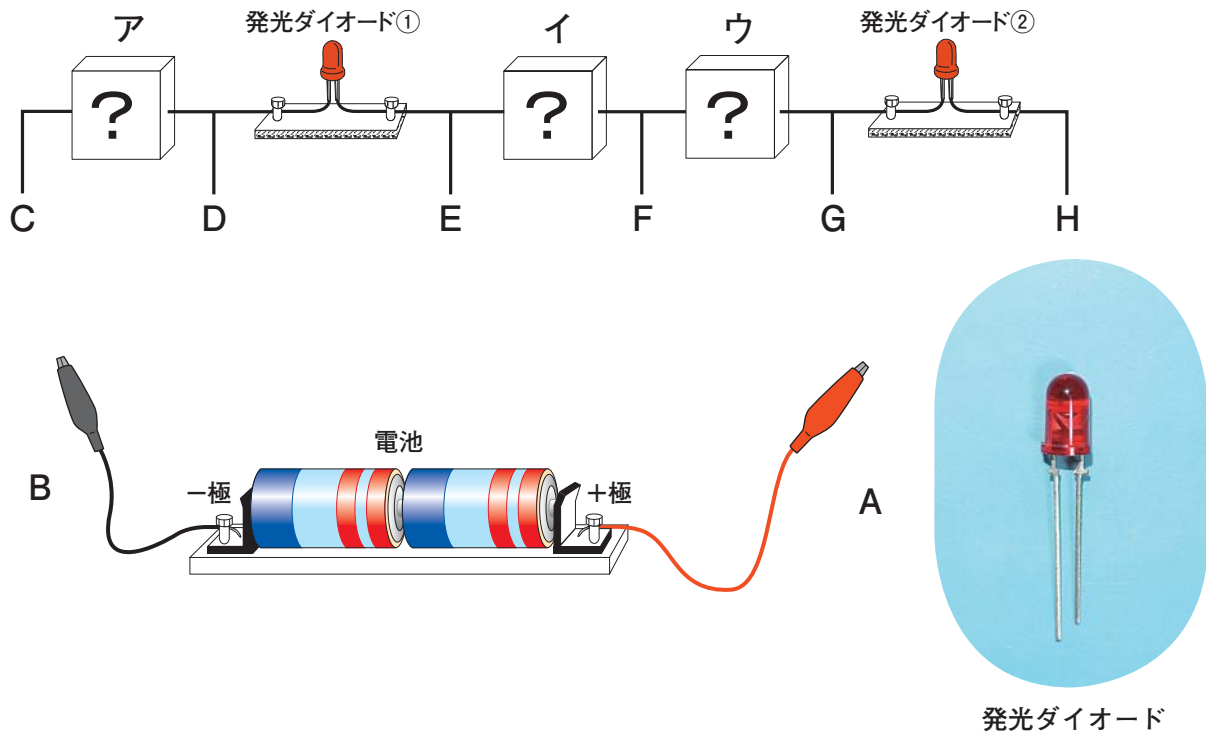
黄色の面

きまり

極

今度は、同じ発光ダイオードを2個使って次の（図3）のような装置を作り、回路について調べました。

（図3）



先生

（図3）のア、イ、ウの箱の中で、次の5つのもののうちどれかが導線につながっているよ。何がつながっているかわかるかな。

アルミニウムの棒・木の棒・ガラスの棒・10円玉（銅）・スプーン（鉄）



次の実験1～3を順に行った結果から考えてみましょう。

【実験】

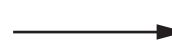
実験1：AとH、BとEをつなぐ



【結果】

発光ダイオード②が光る

実験2：AとF、BとDをつなぐ



発光ダイオード①は光らない

実験3：AとC、BとFをつなぐ



発光ダイオード①は光らない



これで、それぞれの箱の中で何がつながっているかわかったよ。

課題2

実験1、実験2、実験3を順に行ったとき、それぞれの実験を終えたところで、わかることはどんなことが説明してみよう。また、3つの実験結果から、ア、イ、ウの箱の中では何がつなげられていると考えられるか、それぞれにあてはまるものを5つのものからすべて選んで表に書こう。

実験1を終えて

実験2を終えて

実験3を終えて

ア	イ	ウ

研究3 カエルの飼育から考えよう

みどりさんのクラスでは、(図1)のような水そうでカエルを飼うことになりました。



水そうに水を入れるだけではいけないよ。水から上がることができる場所が必要だよ。

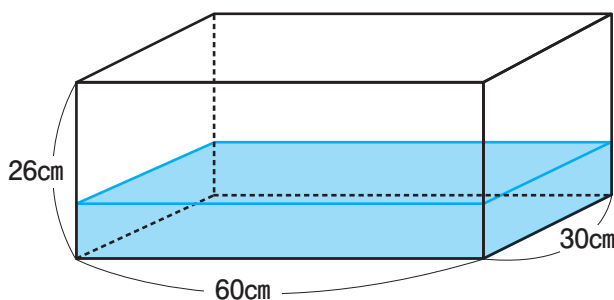


(図2)のような2個あわせたレンガブロックを水そうに入れたら、レンガブロックは、水面より少し上に出ていたわ。

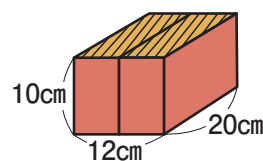


レンガブロックを水そうに入れる前、水はどれくらい入っていたのかな。



(図1) 水そう



(図2) 2個あわせたレンガブロック



課題1

2個あわせたレンガブロックを、の面を上にして水そうに入れたとき、の面は水面より1cm上に出ていました。レンガブロックを入れる前の水の深さは何cmでしたか。ことばや図、式などを使って、どのように考えたのか説明してみよう。ただし、水そうの厚みは考えないものとします。

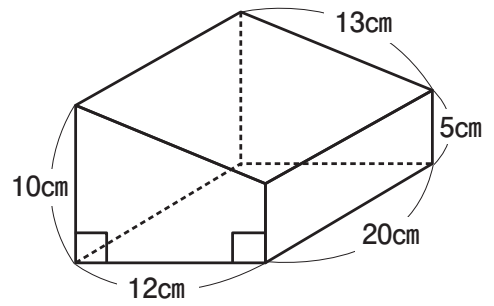
説明

水の深さ () cm



カエルがレンガブロックに上がりやすいように、水そうに（図3）のような四角柱を入れるといいね。

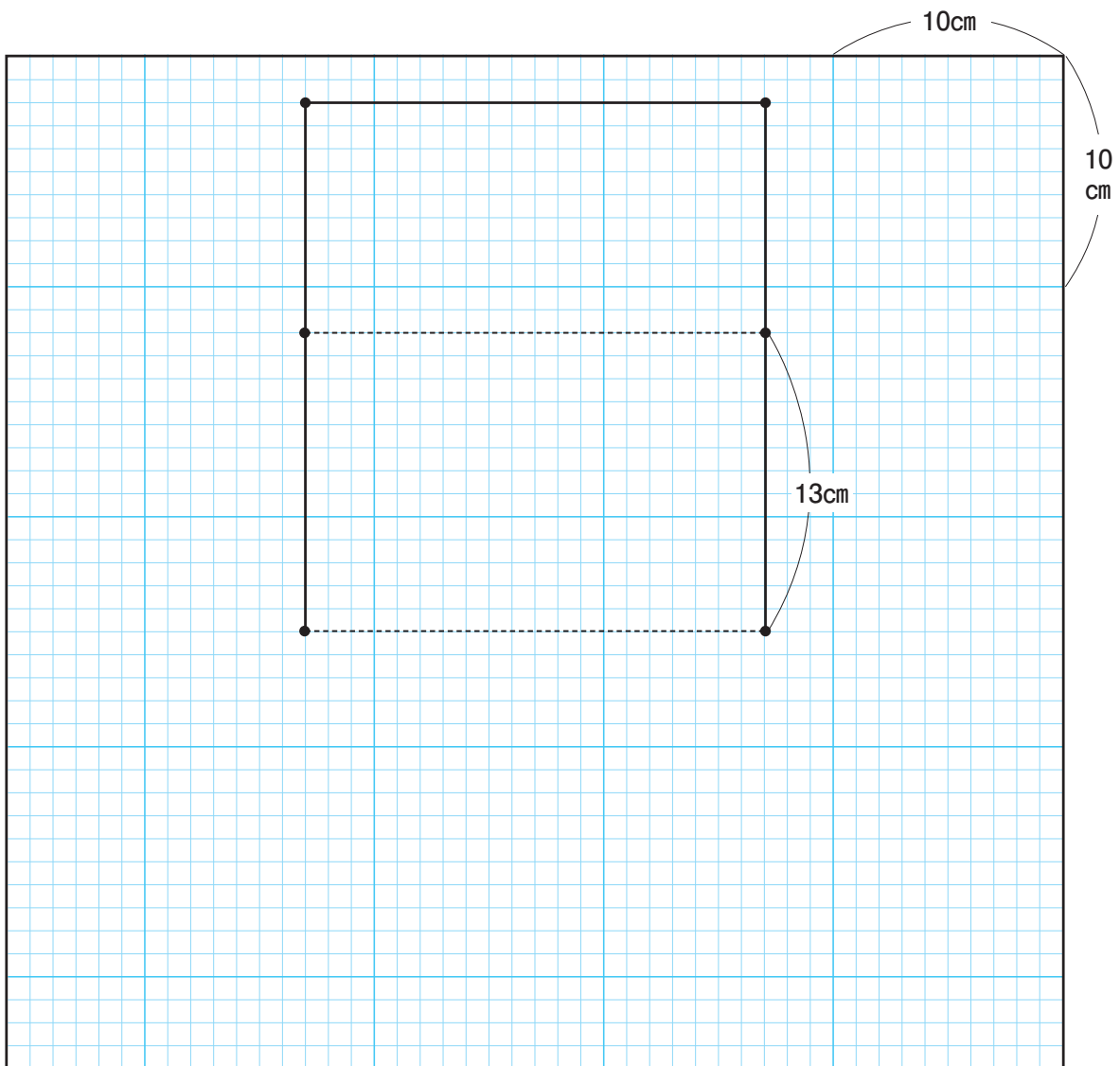
（図3）四角柱



課題2

（図3）の四角柱の展開図の続きを、方眼紙からはみ出さないようにかいてみよう。

ただし、のりしろは考えないものとします。また、切り取り線を——線、折り目の線を-----線、頂点を●として、定規を使わないでかいてみよう。



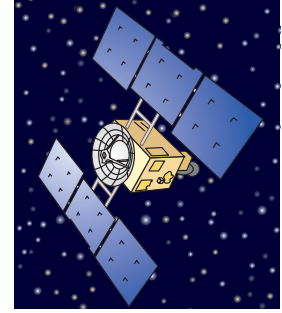
研究4

日本の工業について考えよう

あきらさんとみどりさんは、日本の工業について、調べてわかったことをまとめるために、資料を持ち寄り話し合っています。



わたしは、太陽の周りを回る小さな天体「イトカワ」の調査のためにつくられた「はやぶさ」について書かれた、こんな本を見つけたわ。



わくせいたん
小惑星探査機「はやぶさ」

【資料①】

※には (注) がある。

著作権等の関係で掲載していません



すごいね。社長さんの話は印象的だね。

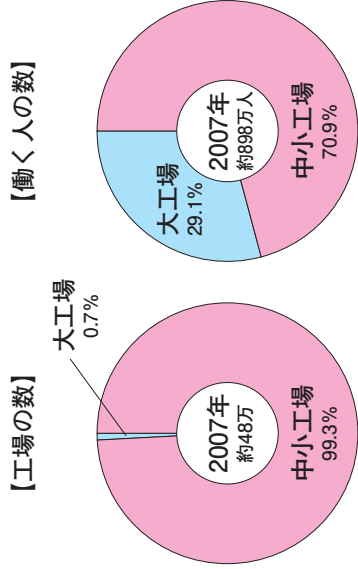
課題1

【資料①】の 一 部に「これがはやぶさがかんばることのできた理由」とありますが、この理由を筆者はどのように述べていますか。四十字以上六十字以内で要約してみよう。

[あきらさんが見つけた資料]

【資料②】

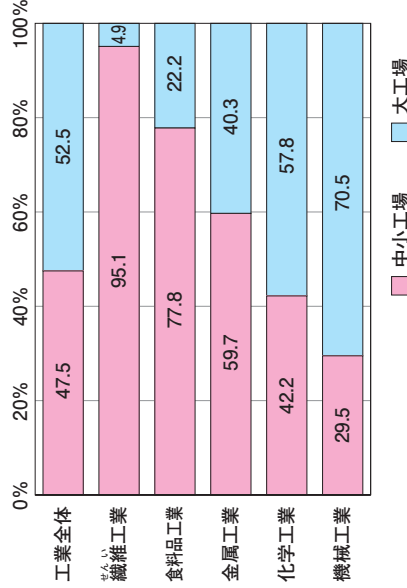
大工場と中小工場の【工場の数】・【働く人の数】の割合



(平成19年工業統計表「産業編(経済産業省)」から作成)

【資料③】

それぞれの工業生産額のうち、大工場・中小工場がしめる割合



(平成19年工業統計表「産業編(経済産業省)」から作成)



はやぶさは、町工場の人たちに支えられていたのね。もっと中小工場のことを調べてみたいわ。



ぼくは、中小工場と大工場を比較したこんな資料を見つけたよ。日本の工業の特色が読み取れるね。



そうね。中小工場は、日本の工業にとって大切な役割を果たしていることがわかるわね。わたしは、中小工場に着目して、日本の工業の特色をまとめてみるわ。

課題2

あなたがみどりさんなら、中小工場に着目して、資料②と③から読み取れる日本の工業の特色をどのようにまとめますか。次の条件に合うように書いてみよう。

- ・資料②と③を関連づけること。
- ・「中小工場は、日本の工業にとって大切な役割を果たしている」という内容をもちこむこと。
- ・百字以上百四十字以内で書くこと。
